

(公財) 日本体操協会

令和元年度第1回理事会議事録

1. 日 時 令和元年6月8日(土) 13時00分～15時40分

2. 場 所 岸記念体育会館5階 504、505号室

3. 出席者 <理事>

出 席

二木英徳(会長)、塚原光男(副会長)、山本宜史(専務理事)、
遠藤幸一(常務理事)、竹内輝明(常務理事)、竹村英明(常務理事)、
水鳥寿思(常務理事)、山崎浩子(常務理事)、中田大輔(常務理事)、
米田功(常務理事)、荒木達雄(理事)、田中光(理事)、加納実(理事)、
田坂利明(理事)、村木啓造(理事)

15名

欠 席

具志堅幸司(副会長)、石崎朔子(副会長)、塚原千恵子(常務理事)、
福井卓也(理事)

4名

<関係者> 竹田幸夫(監事) 高橋史安(監事)

<監事>

出 席 竹田幸夫

1名

欠 席 高橋史安

1名

<関係者>

後藤洋一(審判委員長)、岩瀬史子(広報委員長)、
渡邊榮(事務局長)、守永直人(事務局)

4名

4. 資料の確認

審議事項

- | | |
|-------|---------------------------|
| 審議事項1 | 2019年定時評議員会の開催に関する件 |
| 審議事項2 | 2018年(平成30年度)事業報告・決算報告 |
| 審議事項3 | 2018-2019役員候補者案について |
| 審議事項4 | 第1回世界パルクール競技選手権大会日本開催について |

審議事項 5	マーケティング活動に関する規程の改定について（体操・トランポリン）
審議事項 6	指導における暴力事件の処分解除について
審議事項 7	第 34 回世界トランポリン競技選手権大会最終選考会審判構成（案）
審議事項 8	トランポリン審判本部ブロック部員追加推薦の件
審議事項 9	規程改定について
審議事項 10	第 73 回全日本体操団体選手権仕様器具について
報告事項 11	事務局移設について
審議事項 12	その他

報告事項

報告事項 1	2019-2020 年度 顧問候補者について
報告事項 2	2019 世界選手権日本代表選手内定（4 名）
報告事項 3	国立スポーツ科学センタートランポリン専用練習場利用規程について
報告事項 4	大会における解説について
報告事項 5	体操競技オフィシャルファンサイトの日本体操協会公式 HP への統合について
報告事項 6	2023 世界体操競技選手権大会辞退に関する件について

5. 二木会長ご挨拶

令和第 1 回の会議、昨年は世間を騒がせてしまった。第三者委員会を立ち上げ、改革をした。2つの委員会を立ち上げ精力的に活動した。改革を続けていく。ガバナンスコードを遵守する。世界選手権では、女子体操、新体操で出場権獲得を目指す。6月の種目別で代表を決定する。怪我が無いよう、高難度にチャレンジして目標を達成したい。東京で世界トランポリン選手権大会を行う。テストイベントでもあり、会場のこけら落としとなる。4月、5月にもテストイベントを行う。

6. 議長選出

定款 38 条の定めにより、議長は、二木英徳会長が議長に選出された。

7. 定足数確認

出席理事数 15 名で定款 39 条の定足数に達している。

8. 議事録署名人

規程に従い 二木英徳会長、遠藤幸一常務理事が指名され、議場に諮り、全員異議なく承認された。なお、竹田監事も議事録署名人となる。

9. 議事

第 1 号議案 2019 年定時評議員会の開催に関する件

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

定款 36 条により、理事会決議事項となっている。 6 月 28 日ジャパンスポーツオリンピックスクエアにて行う。

主な議題は、2018 年度決算報告等である。

議長は、山本専務の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に、意見もなく、第1号議案は、原案通り、承認・可決された。

第2号議案 2018年（平成30年度）事業報告・決算報告

議長の指名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

〈2018年度事業報告〉

国際貢献事業で、役員を別紙の通り派遣した。受け入れ事業として、海外からチームと選手を受け入れた。

競技力向上・選手派遣事業を別紙の通り行った。日本と中国で合同合宿を初めて行った。

講習会・指導者養成・資格認定・検定事業も別紙の通り開催した。新体操ではルール講習会は600名を超える参加者がいる。

競技会開催事業も別紙の通り開催した。茨城国体からトランポリンが入ることとなった。佐賀国体でも男子新体操が復活するよう対応準備している。

顕彰事業の内容も別紙の通り。

以上が公益事業。

収益事業ではマーケティング事業はスポンサーやサプライヤーの事。

出版物の販売も収益事業。

〈2018年度決算報告〉について

竹田監事が監事の報告を行い、平成30年度事業報告、計算処理等監査した。事業報告、理事の職務、計算処理において相当と認めるとの報告。

(1) 正味財産増減計算書（損益計算書） 金額単位；千円

・収支予算は、32百万円下回ったが、104,661千円の黒字決算となった。

	予算	実績	差額	
経常収益	1,401,550	1,376,528	▼25,022	
経常費用	1,264,079	1,242,568	▼21,511	
経常外	0	29,299	29,299	第三者委員会関係費用
正味財産増減額	137,471	104,661	▼32,810	

・主要科目別明細（前年度比較）は表に記載の通り。

(2) 貸借対照表 金額単位：千円

総資産 692,573, 負債 105,167 期末正味財産 587,405 となり、104,661の増加。

特記事項として、JOC 補助金事業については50%が体操協会自己財源となってしまう。検討したい。

又、雑役務費として、会場設営費が増えている。減らしていきたい。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に、意見もなく、第2号議案は、原案通り、承認・可決された。

第3号議案 2018-2019 役員候補者案について

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

役員選考委員会を5回開催した。役員改選に当たりガバナンスコードに沿って選出した。インテグリティ、ガバナンス、コンプライアンスを重視すべき役割分担制度を設けた。

競技別分担制とした。

スポーツ庁、日本スポーツ協会などの意見を聞きながら、候補者を検討した。新任候補者7名を選出した。

この候補者を含め、21名の理事、監事2名の候補者で評議員会に提案したい。

議長は、山本専務の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に、意見もなく、第3号議案は、原案通り、承認・可決された。

第4号議案 第1回世界パルクール競技選手権大会日本開催について

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

パルクールをFISE広島の中ではパルクールワールドカップとして開催してきた。FIGより世界選手権開催の打診があった。現在経費や人的負担が発生していないため誘致したい。

4月3日から広島で3日間開催を予定。

議長は、山本専務の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に、意見もなく、第4号議案は、原案通り、承認・可決された。

第5号議案 マーケティング活動に関する規程の改定について（体操・トランポリン）

議長の指名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

体操・トランポリンのスポンサーの個人選手との関係の枠組みを変える。内村選手がプロ宣言して以来、個人活動に軸を置く活動が増えてきた。現在の制限を開放し、選手が活躍することにより、体操普及効果など長期的にはデメリットが無いと考えている。

禁止業種等の変更はないが、主な変更点は「日本代表スポンサー企業と競合する企業との個人契約は認めない」の条件を解禁する。

国内競技ウェア以外のユニフォーム規程の制限を緩和。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に、意見もなく、第5号議案は、原案通り、承認・可決された。

第6号議案 指導における暴力事件の処分解除について

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

現在無期限登録抹消処分期間中である井岡氏の処分解除依頼文が来た。大阪体操教会、所属先、本人からの依頼文である。

議長は、山本専務の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

塚原副会長 解除理由を知りたい。

山本専務 近年の活動は改善されているとの報告。

竹内理事 繰り返さない事の誓約の意味が入っているか確認したい。

山本専務 入っている。

以上の後、第6号議案は、原案通り、承認・可決された。

第7号議案 第34回世界トランポリン競技選手権大会最終選考会審判構成（案）

議長の指名により、後藤洋一委員長は下記の説明を行った。

トランポリンの審判編成。所属、出身校を考慮した。国内カテゴリー1で編成。審判長、上級審判は審判本部派遣。

議長は、後藤委員長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

特に、意見もなく、第7号議案は、原案通り、承認・可決された。

第8号議案 トランポリン審判半部ブロック部員追加推薦の件

議長の指名により、後藤洋一委員長は下記の説明を行った。

トランポリンはブロック制度が確立していない。現在ブロック制度を確立中だが、今回関東、東海、九州の三ブロックから推薦。

議長は、後藤委員長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

特に意見もなく、第8号議案は、原案通り、承認・可決された。

第9号議案 規程改定について

議長の指名により、遠藤幸一委員長は下記の説明を行った。

コンプライアンス規程の改定を提案する。

第8条2項を変更し、理事がいない場合のための規定変更。

議長は、遠藤委員長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

特に意見もなく、第9号議案は、原案通り、承認・可決された。

第10号議案 第73回全日本体操団体選手権仕様器具について

議長の指名により、竹村英明委員長は下記の説明を行った。

全日本団体でオリンピックに合わせてシュピーズの器具を使いたい。

セノー1社でコントロールであったが、競争が起こる可能性がある。

議長は、竹村委員長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

水島本部長 団体だけか、個人総合やNHK杯などはどうなるか。

竹村委員長 種目別も含め4大会計画している。

水島本部長 2021 世界選手権の器具にも合わせるか確認したい。
竹村委員長 器具変更すると購入するところもある。頻繁に変えるのは望ましくない
と思っている。年度は通して使いたい。
水島本部長 2020 年度の全日本団体は 2021 世界選手権に合わせて審議してほしい。

以上の後、第 10 号議案は、2020 年の全日本団体は保留として、それ以外の 3 大会は
提案通り、承認・可決された。

第 11 号議案 事務局移設について

議長の指名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

岸記念体育開会の取り壊しに伴い、6 月 24 日に下記に移転する。
東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8 階

家賃は 107 万円、165 m²となる。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に意見もなく、第 11 号議案は、原案通り、承認・可決された。

第 12 号議案 その他

(1) 2019 年度女子体操ナショナル強化選手

NHK 杯 12 位までの選手に、強化本部推薦で 村上茉愛選手を追加。

- ・寺本 明日香 (ミキハウス/レジックスポーツ)
 - ・畠田 瞳 (セントラルスポーツ)
 - ・畠田 千愛 (セントラルスポーツ)
 - ・杉原 愛子 (武庫川女子大学)
 - ・坂口 彩夏 (ジム・ネット体操教室)
 - ・渡部 葉月 (中京ジムナスティッククラブ)
 - ・梶田 風 (中京大学)
 - ・栗嶋 姫子 (朝日生命)
 - ・松村 朱里 (ジム・ネット体操教室)
 - ・山田 千遥 (朝日生命)
 - ・中村 有美香 (日本体育大学)
 - ・佐野 亜里紗 (日本体育大学)
 - ・村上 茉愛 (日体クラブ)
- 以上 13 名

(2) 2019 年度女子体操ジュニアナショナル強化選手

全日本個人総合予選・決勝、NHK 杯にて選出

<U18>

- ・新山 愛望 (戸田市スポーツセンター)
 - ・花島 なつみ (日本体育大学)
 - ・宗 万凜 (鯖江高等学校)
 - ・青木 梨奈 (JGC/東京学館)
 - ・森 蒼佳 (ZERO 体操クラブ)
 - ・芹田 未果子 (JGC/東京学館)
- 以上 6 名

<U15>

- ・宮田 笙子 (ディナモ体操クラブ)
- ・水村 理乃 (NPO 法人タケダ体操クラブ)

- ・笠原 有彩 (レジックスポーツ)
- ・曾根崎 しずく (鳥栖体操クラブ)
- ・本宮 佳奈 (戸田市スポーツセンター)
- ・時田 瑛帆 (山梨ジュニア/甲斐清和高校) 以上 6 名

(3) 2019 女子体操ナショナル強化本部員&ジュニア強化本部員

＜ナショナル強化本部員＞

- 本部長 田中 光 (流通経済大学)
- 副本部長 瀬尾京子 (日本体育大学)
- 本部員 岡崎美穂 (レジックスポーツ)
- 本部員 畠田友紀子 (セントラルスポーツ)
- 本部員 大野和邦 (武庫川女子大学)
- 本部員 國府方伸也 (ジム・ネット体操教室)
- 本部員 松本忠親 (中京ジムナスティッククラブ)
- 本部員 長坂直美 (中京大学)
- 本部員 塩山 勝 (朝日生命)

＜ジュニア強化本部員＞

- 本部長 岡田修司 (ならわ体操クラブ)
- 副本部長 豊島リサ (戸田市スポーツセンター)
- 本部員 田野辺満 (鯖江高等学校)
- 本部員 伊東安崇 (山梨ジュニア体操クラブ)
- 本部員 中濱芳信 (ZERO 体操クラブ)
- 本部員 神崎 俊 (J G C)

以上の案件について、議長は、議場に諮り、全員異議なくこれを了承した。

その他 4 号案件について、田中 光女子体操強化本部長は、下記動議を提案した。

【提案内容】

村上選手を種目別選手権に出場させ、強化本部推薦で世界選手権選考対象選手に指定したい。

議長は、田中本部長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

水鳥本部長 2018 世界体操個人総合 2 位を考慮した推薦だと思うが、今後の事を考えると、世界選手権を基準にするなどはどうか。

田中本部長 世界選手権も考慮した。

米田理事 来年度以降も起こるのではないか。

水鳥本部長 3 位だったらどうかとかなるのではないか

田中本部長 村上選手であったから推薦した。

山崎本部長 世界選手権も考慮することを推薦理由に入れるべきだ。

田中本部長 新旧本部員交えて検討した。パンフレットでは細かい内容まで記載されていなかった。強化本部推薦枠で村上選手をナショナル強化選手にし、ナショナル強化選手を代表選考対象に入れられると解釈できる項目があった。そして、この枠を使う案も出た。この枠の解釈の経緯を旧部員からも聞いたところ個人総合 12 位以内が入っていないといけないとの意味合いだった。ナショナル強化選手推薦は W 杯などで活躍した選手のための項目であったと説明された。強化本部では決められなく、理事会にて決定してほしいとあった。村上選手の種目別での復調を見たい。オリンピック団体出場権獲得を最大の目標としたい。種目別を見て、選考を再度検

討したい。

塚原副会長 選考ルールを変更する事なのか？選考方法は不透明であってはならない。村上選手の状態が悪い時どうするのか？1972 ミュンヘンで女子に特別選考をした。ミュンヘンでは結果が悪かった。85年の男子世界選手権でも同じく特別選考を行ったが結果が悪かった。チームの結束力が落ちる。さんざんな目に過去はあっている。村上の怪我は相当悪いとみている。

田中本部長 種目別で判断したい。

二木会長 体操協会として、日本チームとしてどうなのかを検討すべき。

山本専務 強化本部で解釈が違えば、ルールはルールとして適用すべき。チームワークは難しくなるだろうと懸念する。

田中本部長 本部会で色々検討した。理事会で判断してもらいたい。

遠藤理事 強化本部で出場権のかかる12位の戦力分析はどうだったか。村上選手を入れるとチーム力が格段にあがるなど村上選手の必要性を裏付ける理由を知りたい。

田中本部長 全日本で当てはめると、1.4から1.5くらい。世界選手権は4点ほど入れると入れないとでは違ってくる。団体160点が出場権の目安だが、村上選手を抜くと160点くらいになる。

遠藤理事 強化本部としてのそういう分析で提案してほしい。現状ではルール通りとなってしまう。

米田理事 目的は出場権の獲得。村上が入った方が選手は安心感があるだろうが、ルールを決めて後にルール変更の方が難しい。かつこのナショナルに対する解釈の問題と思う。腰痛めた選手が種目別に合わせると選手生命にかかわる。チームとしてどうするか。

塚原副会長 解釈で変更してはいけない。そういう形で成功した例がない。最善の方法はルール通りと考える。

遠藤理事 今回の提案には本当に必要な理由がよくわからない。

田中本部長 種目別で見て、検討したい。

水島本部長 村上を入れた方が点数があがるのは確か。塚原副会長の話も分かる。ナショナルを決めた経緯を考えると、村上がなぜナショナル枠に入ってくるのが分からなくなってくる。筋が通らないのではないかな。

田中本部長 弁護士とも相談したりした。本部会では意見がまとまらなかった。解釈の問題はなくして、村上が必要であるためどうするかとの話になった。

二木会長 本部長としては解釈がどうなのか。

田中本部長 自分はこのルールで選考できると考えていた。ただ、怪我の様子から、現状がどうかかわからない。

二木会長 本部長としてもそれでよいと思っているのか。自信を持って本部長の意見をいったらよい。

加納理事 男子は5試合で平均。女子は2大会。種目別をやらなくても良いのでは。

田中本部長 現状で選出選手はほぼわかっている。種目別に向けて頑張っていて高得点を出す選手がいるかもしれない。

山本専務 新たな選出方法の提案が出ている。現状は解釈の問題ではなくなっている。

塚原副会長 ルールを順守する必要がある。

二木会長 建前論ではメダルがとれない。チャンスを与えてもよいのでは。

米田理事 現状あるルールの中で対応するのがベストではないか。

村木理事 ナショナル選手を含めるか含めないか、体調はどうなのかとの問題である。解釈をどうするかを決めた方がよい。

二木会長 解釈の決をとるか。単純に種目別に出して結論を得たいのか。

山崎本部長 単純にナショナル選手と理解した。

二木会長 種目別に参加させるか、させないか。

米田理事 ルールを変えたらいけないのではないのか

二木会長 ルールを変えたらいけないわけではない。理事会で結論を作るものだ。
 山崎本部長 強化本部内で決めてくるべきだ。本部長が決意を持つべきだ。
 遠藤理事 部会で解釈を変えないと結論がでた。
 米田理事 男子でも所属問題が絡んでくる。所属が絡まないからオリンピックの事まで考えられる。
 田坂理事 田中本部長の提案を整理してほしい。
 田中本部長 種目別の結果をみて、結論をだしたい。
 竹村理事 どのような検証かはっきりと示されないと結論は出せない。
 田中本部長 持ち点をなくし、種目別の結果だけをみて、検証したい。
 竹村理事 テレビ中継中に発表出来なくなってしまう。事前に代表発表ルールが必要。
 水鳥本部長 選考方法は変わらない。
 田中本部長 種目別に出ている選手で貢献度が一番高い選手を選択する。
 山崎本部長 強化本部が所属がどうだからという話をしてはいけない。
 村木理事 ルールを変更することは抵抗がある。ルールの範囲で対応できる問題なのでは。
 山本専務 強化本部の中ではルール範囲ではないと強化本部で結論を出してきた。
 二木会長 もう一度提案してほしい
 田中本部長 持ち点無しとして、種目別の結果で代表決定したい。
 竹田監事 強化本部で異論が出ないのか。
 田中本部長 出ないわけではないと思う。
 竹村理事 種目別では跳馬 2 本跳ばなければならない。
 田中本部長 村上だけ 1 本。
 竹村理事 それはできない。種目別の結果ですぐ選ばれたか選ばれなかったにしなければいけない。

議長の指示に従いこの案件は採決することとなった。

反対 塚原副会長、山本専務理事、水鳥常務理事、山崎常務理事、中田常務理事、
 米田常務理事、加納理事、村木理事 8 票
 賛成 二木会長、田中常務理事、田坂理事 3 票

以上の第 12 号議案その他 4 項は、上記の結果否決された。

報告事項 1 2019-2020 年度 顧問候補者について

議長の指名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

顧問に推薦する者は専務理事以上経験者とした、塚原、石崎副会長を顧問とした。
 現行と同じ 26 名を推薦選任。

報告事項 2 2019 世界選手権日本代表選手内定（4 名）

議長の指名により、田中光本部長は下記の説明を行った。

NHK 杯の結果

寺本 明日香 （ミキハウス/レジックススポーツ）
 畠田 瞳 （セントラルスポーツ）
 杉原 愛子 （武庫川女子大学）
 梶田 風 （中京大学）
 が代表に内定した。

報告事項 3 国立スポーツ科学センタートランポリン専用練習場利用規程について
議長の名により、遠藤幸一委員長は下記の説明を行った。

規程改定は理事会審議案件であるが、実務の点の変更のため報告とした。
国立スポーツ科学センタートランポリン専用練習場利用規程
第 5 条 (2) 変更内容 14 日以前を 7 日以前とした。

報告事項 4 大会における解説について

議長の名により、岩瀬史子委員長は下記の説明を行った。

種目別選手権の放送は日本テレビで、解説する人を選んだ。

体操 男子 沖口 誠

体操 女子 鶴見虹子 リポート解説 田中理恵

トランポリン 山本宜史

報告事項 5 体操競技オフィシャルファンの日本体操協会公式 HP への統合について

議長の名により、岩瀬史子委員長は下記の説明を行った。

体操協会が運営するファンサイトがあったが、公式ホームページと統合する。

報告事項 6 2023 世界体操競技選手権大会辞退に関する件について

議長の名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

2023 の誘致問題で懲戒処分を行った。

専務理事 厳重注意

事務局長 減給 30% 3 カ月

その他

その他意見は無かった。

議長は、すべての議案の終了を確認し、15 時 40 分に閉会を宣言した。

令和元年 6 月 8 日

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 遠 藤 幸 一

議事録署名人 竹 田 幸 夫